

妙法華寺便り

令和2年6号

◇ 行事報告 ◇

5月18日（月）摩利支天月例祭

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、岡山でも非常事態宣言が発令されて約一ヶ月経ち、5月14日に解除されました。今月は久しぶりに本堂での式典を執行させて頂きました。

法話では、法華経14番目の安樂行品のお話がありました。「安樂」の「安」は安らか



か（色々な事に惑わされない・心安らか）、「樂」は自ら願っての意味となり、現代の「心身の苦痛や生活の苦勞がなく、楽々としていること」とは異なっています。「いなかの困難に遭遇しようとも、いかなる苦境に立たされようとも、いつも安らかな心で、自ら願って真理の道を歩む。」という仏の道の心構えが説かれています。

その中の一つに「忍辱（にんにく）」の教えがあります。その真意は「寛容」です。自分に都合が悪いことが続いても、決して腹を立てたり恨んだりしない、自分に損害や侮辱を与えるような相手に対しても、怒りや恨みを覚えたりしない、かえって何とか救ってあげたいという気持ちを起こすことです。このような気持ちにはなかなかないと思います。コロナ禍でイライラすることもあります。先ずは笑顔で日々過ごせるようになりたいですね。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

※7月の18日（土）は予定を変更して7月17日（金）に執行いたします。

宜しく申し上げます。

8月は定例通り8月18日（火）、9月18日（金）午前10時より執行いたします。当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

◎ 題目助行の御礼

檀信徒各位におかれましては新型コロナウイルスの感染拡大早期終息を祈願し、各家等での題目助行を行って頂きありがとうございました。皆様の題目の合計回数は30万回にもなり、池上本門寺へ奉納料と共にお納めさせて頂きました。ありがとうございました。



◎ お盆棚経のご案内

7月に入りましたら、お盆棚経のご連絡をさせて頂きますので、宜しくお願いします。

◎ 最上稲荷納骨堂完成

昨今の墓じまいや後継者の不在等の不安を解消できますようにとの思いから、当山の最上稲荷庭瀬支院の総本山である妙教寺（高松稲荷）にて移動式の納骨堂が完成しましたので、最上霊廟の案内を同封させて頂きました。

檀信徒の皆様におかれましても、墓地に関して相談があれば、妙法華寺にてお話を伺わせて頂きたいと思えます。

◇ 近況 ◇

6月1日に全国で新型コロナウイルスの感染拡大早期終息の祈願を込めて花火が打ち上げられ、岡山県でも7カ所で行われました。写真はお寺の外から見えた神道山からの花火です。

今年も紫陽花の花開し、心を和ませてくれました。



皆様、引き続き、手洗い・うがいを励行して、お体ご自愛のうえお過ごし下さい。